

A-11 戦争中の人々のくらし

対象学年・教科
小学校・中学校全般



防空頭巾（画像パネル）
（複製）

[297×420]
[540×490]

戦時中、空襲時に頭を落下物などから保護するために使われた、綿の入った頭巾です。



モンペ（複製）

[960×580]

モンペは、作業着やふだん着としては袴の一種で、東北地方などで使われていましたが、第二次世界大戦中に女性の衣服として奨励されて全国に広まりました。



墨塗り教科書（画像パネル）

[297×420]

亀山実業学校で使われていた中等数学の墨塗り教科書です。終戦まで使われていた全ての教科書は、軍国主義の色が濃い記述などが墨で塗られて用いられました。



投下ビラ（画像パネル）

[297×420]

アメリカ軍が空から撒いたビラです。表裏に日本軍が降伏するよう促した内容が書かれています。大阪で投下され、拾われたものです。

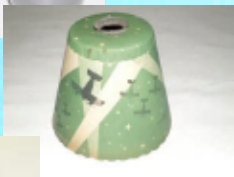


防空電球（画像パネル）

[297×420]

灯火管制電球カバー（画像パネル）[297×420]

外に灯りが漏れないようにする道具です。電球は、側面を黒く塗り、真下に向く部分だけが明るくなるようにつくりです。どちらもスポットライトのようになったのだろうと考えられます。



木銃（画像パネル）

[297×420]

学校の軍事訓練で使用されたものです。



演習用手榴弾（画像パネル）

[297×420]

民家で保管されていたものです。



亀山実業学校軍事教練写真（画像パネル）

[297×420]

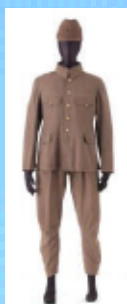
亀山町立実業学校は、昭和10年9月に南崎の亀山町立亀山実業公民学校を改称してできた中学校令の学校です。昭和16年9月に西丸に移転（現：亀山中学校）、昭和23年5月亀山高校となります。写真は、この学校で行われた軍事教練の様子を写したものです。



勤労奉仕学生畑作業写真（画像パネル）

[297×420]

学生が、勤労奉仕で畑作業をしている様子を写した写真です。このうち1枚は亀山城多門櫓の近くにあった畑です。



国民服（画像パネル）

[297×420]

昭和15年11月1日に国民服令によって定められた男子の標準服です。国防色で軍服の代用にもできるように考えられていました。国民服には、乙号と甲号があり、パネルの帽子は甲号、上・下衣は乙号です。



ゲートル（画像パネル）

[297×420]

昭和14年に撮影されたもので、亀山警察署（現：江ヶ室交番所）の前に並ぶ防空監視硝員が写っています。ゲートルを巻いている様子がよくわかります。



戦没者村葬写真（画像パネル）

[297×420]

戦時中、出征した兵士が戦地で戦死すると村葬で慰霊しました。



千人針（画像パネル）

[297×420]

戦時中「武運長久」の願いを込め出征兵士に贈られた御守りです。腹巻きになっています。女性が1人1針ずつ縫い、1000人から集められました。



千人力（画像パネル）

[297×420]

戦時中「武運長久」の願いを込め出征兵士に贈られた「力」の文字の御守りです。腹巻きになっています。「力」の文字は、男性1000人から集められました。



出征寄書の日章旗（画像パネル） [297×420]

出征の時に、見送る方々が日章旗に寄書をしていました。



出征兵士見送風景写真（画像パネル） [297×420]

本町で撮影された、出征兵士を見送っている写真です。



慰問袋（画像パネル） [297×420]

戦地の兵隊へ慰問のために送られたものです。中に御守りや日用品、煙草などの嗜好品他が入れられ、慰問の手紙も添えられました。



軍服（画像パネル） [297×420]

第二次世界大戦中に着用された夏用の軍服です。



衣料切符（画像パネル） [297×420]

戦時統制下の昭和17年1月20日公布「繊維製品配給消費統制規則」により実施された切符です。これにより、お金があっても衣料切符がなければ購入できなくなりました。